

2018年9月28日

日本ユニシスが「イクメン企業アワード 2018」グランプリを受賞

日本ユニシスはこの度、「イクメン企業アワード 2018 両立支援部門」にてグランプリを受賞しました。

日本ユニシスグループでは、人財は企業における重要な資産（アセット）であり、人財こそ企業の持続的成長と中長期的企業価値向上の原動力であると考えています。新中期経営計画「Foresight in sight® 2020」では、重点施策の一つに風土改革を設定し、組織や人財、働き方改革を進める「WorkstyleForesight®」、ダイバーシティを推進する「DiversityForesight®」、そして制度や業務プロセスを見直し変革する「Management Foresight®」という3つの柱で進めています。

働き方改革の取り組みでは、全社員を対象としたテレワークの導入、サテライトオフィスの設置、そして残業メリハリ活動や有給休暇取得などを推進し、時間を効率的に活用することにより公私共にゆとりを持つことにより、ワークライフバランスを保ちながら高い生産性を生み出すことに繋げています。

当社のワークライフバランス制度は性別に関わらず取得することができ、男性社員による活用も進みつつあります。また制度のほかに、男性社員を対象とした社内SNS「育児を楽しむパパネット」の運用を始めとして、活躍する社員をイントラに紹介するロールモデル・インタビューでは育児と両立する社員を取り上げるなど、夫婦や男性社員も対象とする育休復職者向けのワークショップの開催などの取り組みを通じて、イクメン社員も年々増加しています。また管理職研修では、男性社員の育児休職や育児と両立する社員のマネジメントや事例紹介も盛り込み、管理職の意識改革を図っています。

この度の受賞は、男性育休の平均取得期間などの実績のほか、積極的な制度の整備や取得しやすい環境作り・業務改善、社長・役員などの経営層を筆頭に推進する働き方改革による積極的な取り組みなどを評価されたものと考えています。

今後も日本ユニシスグループは、多様な人財が活躍するビジネスエコシステム創出企業として、さらなる風土改革に取り組んでいきます。

■ 「イクメン企業アワード」について

「イクメン企業アワード」とは、男性の育児と仕事の両立を積極的に促進し、業務改善を図る企業を厚生労働省が表彰するものです。育児を積極的に行う男性＝「イクメン」を応援し、男性の育児休業取得を促進します。

■関連リンク

「イクメン企業アワード 2018」・「イクボスアワード 2018」の受賞企業・受賞者を決定しました（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000187000.html>

※ Foresight in sight、WorkstyleForesight、DiversityForesight、Management Foresight は日本ユニシスの登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。